

# 動物(アニマル)セラピー

## 開催します



動物(アニマル)セラピーとは、動物と触れ合うことで私たちが癒されたい接し方によっては動物自身の癒しにもなったり、あるいは心や体に障害を負った人たちが、人には心を開ざしていたのに動物と触れ合うことで心を開くようになったり、元気になったり、リハビリになったりといった、私たち人間が動物とのふれあいによって心も体も変化することです。

今回、元酪農学園大学附属動物病院院長の新山氏を講師に迎え、動物と人とのふれあいによって「癒される」をテーマに行います。

**日時：平成23年12月10日(土) 14時～17時**

**場所：江別市民会館 3階 37号室**

(江別市高砂町6番地 011-383-6446)

**入場料：無料**

**定員：80名程度「入場整理券」を発行します！**



入場整理券は下記施設にあります。

江別市民会館・江別中央公民館・野幌公民館  
大麻公民館・江別市民活動センター・あい

**講師：新山 雅美 (元酪農学園大学附属動物病院院長)**

現在、小型犬介在療法研究所代表



問い合わせ先：江別市民会館

担当/中村

011-383-6446

江別市民活動センター・あい 担当/西

011-374-1460

主催：江別市民会館指定管理者 日興・プリズムグループ

共催：NPO 法人えべつ協働ねっとわーく

後援：江別市・江別市教育委員会

## 「動物(アニマル)セラピー」講座の概要

お話される人： 小型犬介在療法研究所 代表 新山 雅美 氏

元酪農学園大学附属動物病院長

アシスタント： 新山先生の奥さまとセラピー犬 4匹

### 動物介在活動と介在療法の違いについて

「動物介在活動」は、触れ合い効果の「癒し」を活用するものです。

「動物介在療法」は、動物との触れ合いによる効果を治療に活用するものです。

つまり、動物による「癒し」と「療法」の違いとは、動物を見るのか、患者さんを見るのかの違いということになります。下図にイラストで表しました。

#### 「動物介在活動」



友好的な小型犬は人の心を開きます。  
私達は犬との交流を通して  
普段の生活を豊かにするお手伝いをします。

#### 「動物介在療法」



友好的な小型犬は人の心を癒します。  
私達は、医療・介護職が犬達との交流を活用して  
対象者の生活を豊かにする、お手伝いをします。

### 犬たちの能力について

動物は訓練されなければなりません。動物がそこにいるだけでは療法には活用できません。

動物の活用は人間と動物との信頼関係にもとづいた協同作業です。

犬という動物がどんなに多くの能力を秘めているのかを見ていただきたい。

犬達は人の行動パターンと起こってくる結果の繰り返しをみて学んでゆきます。

訓練の基本は「お座り、待て、よし」。犬は待つことの出来る数少ない貴重な動物です。

### セラピー犬の大道芸の紹介

出演犬みんなで	犬たちの行進、ねんね、お手、おかわり
ミニチュアダックスの芸	赤い車乗り、ズボン滑り、トランク入り、跳べと降りて
パピヨンの芸	立ち歩き、ボール持ってこい、跳べと降りて
ミニチュアプードルの芸	立ち歩き、ボール持ってこい、お皿持って来い
ヨークシャーテリアの芸	跳べ

などなど、ワンちゃんが講座の中で芸を見せてくれます。お楽しみに・・・。

皆さまのご参加をお待ちしております。